

波紋 *Ripple* 2015年 4月

創刊
1985年(昭和60年)7月
No. 358号



Facebook始めました！！

フェイスブックのTOPページです



これからは我が社もソーシャルメディアぐらいやっとかんとイカン！と意気込んでフェイスブックページを開設するに至りました。Facebook(フェイスブック)とは、ソーシャル・ネットワークワーキング・サービスと呼ばれるインターネット上のコミュニケーションサイトです。友人同士のコミュニケーションツールだけではなく、ビジネスでも使われています。日記のような個人的な投稿から、企業の公式ニュースリリースのような投稿まで、世界中で幅広く利用されています。また、フェイスブックに投稿された情報については、誰でも自由に閲覧・シェアすることが出来ます。特徴として使用者は「実名」でなければならぬというところがあります。このため現実の世界での人間関係を基にして、インターネット上で交流するように設計されています。フェイスブックはいまも急成長を遂げており、今後も世界中で使われるサービスになっていくと予想されます。

今後は少しでも森松を皆様の近くに感じていただけるよう、社内の出来事や会社行事を中心にUPしていきたいと思っております。ぜひ弊社ホームページからフェイスブックページもご覧ください。そしてご覧になりまして「いいね」ボタンを押してください！ご自身のページで、森松を「いいね！」した、ということが他のユーザーに伝えられます。

『品質について考える』

社長 森 直樹



これをもし自分が買うなら、文句は無いかな？ 森松にて展開している商品のうち、法人向けではない一般家庭向けのものも有ります。求されるものはコストよりむしろ品質です。自分がお金を出して買うものは、当然ながら納得がいかなければなりません。通販であれば、オフというところでそのまま返ってきてしまいがちです。物によっては再利用も出来ません。作る側からすると、買い手に納得してもらえない品質の商品を作ること考えますが、反面どこから見ても完璧な、100点に近い商品を作るためにはそれ相応のコストがかかります。受け取る側の要望がどこにあるかを正確に掴んでいないと、無駄に時間や労力を使ってしまう可能性があります。過度な耐久性や強度が求められないような耐し、逆にオーダースペックの完成品が、おや外観は厳密にチェックされ、コストが乗っているわけですが、異物や虫など、どれだけ大規模で精密な生産体制でも、不具合が起り得ます。生産設備上での不具合(事故)が起る可能性があります。これを防ぐためには、商品の提供を忘れず、お客様の

今年もハンセー!!!

牧野 光昌 (企画営業部)



『名古屋シティマラソン2015』が3月8日に開催された。私が初めて参加してから今年で9年目となります。その当時は11月の勤労感謝の日が開催日でしたが、2010年11月で一旦終了となり、翌年は無しで、2012年3月から名古屋国際女子マラソンに吸収された形で3月の第二日曜日開催で再スタートされました。この時からスタート地点が瑞穂競技場から名古屋ドームに変更されました。ところがゴールも名古屋ドームかと思ったら、クォーターは瑞穂競技場が、ハーフは白川公園がゴールとなり、ドームに戻るの女子のフルマラソンだけでした。男子としては完全に疎外感を感じさせられるコース取りだと感じております。大会名は『名古屋ウィメンズマラソン』がメインで、テレビ中継もあり同時開催の「名古屋シティマラソン」という大会名前は参加している人が知っているくらいではないでしょうか。スタートは『名古屋ウィメンズマラソン』が1時間早い為、ドームの中の観客席でスタート風景をオーロラビジョンで見ながら、グラウンドに設けられた「マラソンEXPO」のブースで10時のオープニングに向けて準備している人たちの姿を眺めながら「10時10分のスタートだからこれらのブースをスタート前に見ることもなく、ゴールが別だから、ここへ戻ることもなく、今年も終わるんだなあ・・・」と思うのです。さらにゴールへ手荷物を届けてもらうためにランニングには不要な荷物を佐川急便に預けるのですが、スタートの1時間以上も前に預ける為、預けてからの1時間はじっとしていると寒いのです。などと後ろ向きなことを言うのなら出なければいいのではないかとお思いでしょうか、でもしかし普段は車でしか走る事のない片道3車線の大通の真ん中を自分の脚で、それも5000人を超える大群(女子のフルを入れると3万人)で走るのは気持ちいい。仮装した遊び半分の人たちにも、スタートしてすぐに抜き去った随分年配の人たちにも抜き返されながらも瑞穂競技場のゴールゲートをくぐった時の思いは『達成感!!!』ではなく『もうやめよう!』でもなく、ただただ『まっしろけ!』、つまり頭の中は空っぽ。飲料のPETボトルをボランティアの人にもらって、一口飲んでちょっと落ち着いて思ったことは、この1年間ちゃんと練習すれば良かったなと『ハンセー!!!』するのみでした。そして翌日は関西出張。足が痛くて階段の上り下りは過酷だ。

「この日に出張を入れたのは誰だ!!!」

続・音楽が好き

加藤 雅昭 (営業部)



いろいろとオーディオ関連のおもちゃが集まってきたとしても楽しい時間をすごしていますが・・・いろいろな組み合わせにはやはりセレクターが必要、最低でも入力・出力・スピーカ各3は必要か!?!というところでセレクターを別注で発注、これがいい、非常に使い勝手がよく、パワーアンプやスピーカーを切り替えて楽しんでいます。このセレクターは豊田で個人で作っている方がみえ、いろんなリクエストに答えてくれます。使用するターミナル・配線・セレクタースイッチ等お値打ちに組み合わせてみました。ちよつと立ち寄ったオーディオショップでプリアンプをいじってみる。あれれ、プリアンプで音ってこんなに変わるんだ。現在プリアンプはプリメインの2000IVのプリ部分を使用するか、PCからDAC▶パワーアンプ▶スピーカーで音だしをし、出力はPC側でコントロールしてしまいました。しかしPC側の調整はビット数を減らして調整するので当然音はよくはならないのだが、まあいいかなとおもって使用していました。しかし、あんなに音が変わることを実感、またまた夜中にヤフオクでポチッとやっちゃいました。出力2系統のうち1系統がノイズだらけということでジャンク扱いのプリアンプ。お安く買えました。真空管をバッファ回路に使用しており音の柔らかさが違うそうだが・・・よくわからん。早速セレクターに接続し音を出してみる・・・おおよよ!!!音の分離が今までと違う、定位もしつかりする! プリアンプだけでこれほど違うのか。楽曲全体も軽やかに響く。いままでパワー直のときはガツンと来る少々粗さの目だった音も線が細くなりすぎない程度に繊細になってきた。DACも内蔵しておりこちらも聞いてみるが、あくまでも私感ですが、今使っているラックスマンのDA-100のほうが音の深み・余韻があるように感じるので通常DACは今までのものを使用することにしよう。このおもちゃのおかげでまたまた音楽を聴くのが楽しくなってきた。

バイオリン・チェンバロ等の上の伸びがすばらしい。倍音の響きが私にもわかるか?しかしあの地を這うような沸きあがってくる低音もほしいな。やっぱり真空管の交換かな、DACもアップコンバートするものも興味があるし、音楽は楽しみが尽きないなあ。



4月の予定

4日(土) 第1土曜休み

土田義紀さん誕生日

松平権現祭甲冑隊参加

12日(日) 伊東郁二さん誕生日

14日(火) 三輪りつ子さん誕生日

17日(金) 第3土曜日休み

18日(土) CS会議 14時10分〜

生産会議 17時〜

24日(金) 昭和の日

森松株式会社のオリジナルキャラクター
守り隊の『マモーリン』誕生しました!



このたびLINEスタンプデビュー☆
全40種類100円で販売しています!
いますぐクリックしてね!

森松株式会社 社内報 MORLIN
No: 358 平成27年3月26日
編集者 大石耕平 小原龍一 伊東義弥
小坂美香 柳原 瞬

RIPPLEとは: 波紋を意味しております。



フットサル

柳原 瞬 (裁断部)



サッカーは知ってるけど、フットサルは聞いたことあるけどよく知らない。という人は多いと思います。まずはフットサルの基本知識ですが、フットサルはサッカーに似た5人制球技。(サッカーは11人)サッカーの約9分の1のコートは基本的に室内で、国内で約30万人が楽しむとされています。W杯は1988年に始まり、92年から4年に1度、国際サッカー連盟(FIFA)が開催。第12回のタイ大会はサッカー元日本代表の三浦知良選手の出場が話題になりました。日本は初めて1次リーグを突破しました。去年の話ですが、フットサル2020年のW杯では愛知県が立候補しています。もし実現すれば東京オリンピックも相まって、とても注目される一大イベントになるかもしれません。なぜ愛知県が立候補したかと言うと、愛知県は名古屋オーシャンズというフットサルチームが存在しますが、なんと過去8シーズン全て優勝と8連覇中なので日本フットサルリーグでは他を圧倒しています。そして、港区の金城ふ頭にはホームアリーナである「テバオーシャンアリーナ」という名前の日本初のフットサル専用アリーナがあるのも、要因の一つでもあります。自分もまだ生で観戦したことはないですが、近いうちに観戦したいと思っています。ぜひ興味を持っていただける観戦に行ってみようか。

